

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	社会福祉法人あざみ会しいのみ保育園
所在地	品川区南品川2-15-14

1 活動のテーマ

感触

<テーマの設定理由>

園の方針の一つである五感を育む保育を実現の為、身近な感触をテーマに絵の具やシール貼りなどの製作を通して表現力を養っていく。また、餅つきを通して日常ではあまり触れることのない米やもち米など様々な方面からの感触を通して興味を関心深めるため。

2 活動スケジュール

4月・5月→計画・製作立案・戸外の砂や土に触れる
5月→壁面の案持ち寄り
6月→製作開始・進捗確認
7月・8月→水に触れる
8月→製作してきた作品を夏祭りを通して展示
9月10月11月→紙粘土、砂、土などに触れる・レジュメ作成
12月→材料子どもたちと買い物へ行く・小麦粉粘土・餅つき・鏡餅作り

3 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

※活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具

【準備した素材など】・もち米・臼・杵・マット・ブルーシート・ボール・お釜・たわし・雑巾・タオル・小麦粉・三角コーナー・テーブルクロス・ネット・食器用洗剤・コピー用紙・折り紙・固める容器・手袋
・絵本・パネルシアター(導入用)

4 探究活動の実践

<活動の内容>

餅つき当日に至るまで、年間を通して様々な感触遊びを経験してきた。普段餅は既に形になっているものを目にすることが多いがもち米の状態から餅になるまでの過程の変化を経験した。保育園は「どんな感じ?どんな匂い?どんな形?」など問いかけると「ぶにぶにしてる、変な匂い、柔らかい」など感じたことを言葉で表現していた。言葉が未発達なクラスも顔の表情で表現しており、「柔らかいね」等々保育者の助言を十分に加えて共感した。鏡もちづくりでは、小麦粉を使って塊を作っていたが、小麦粉を使用することで「小麦粉粘土みたいだね」という過去の経験も言葉にし小麦

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

※活動の様子が分かる写真を2枚以上を貼付してください。
(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用してください。)



5 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

餅だけでなく、感触という視点から年間を通して沢山の感触遊びを行ってきた。子どもたちが感じた表現を共有しあい「〇〇みたい」という子ども達がイメージするものを大切にしてきた。そうした積み重ねが自由な表現となっていたのだと感じた。感触というテーマの中から今回は餅を題材にして鏡餅になるまでの変化を楽しむ為に導入も十分に行ったことがより親しみを感じることができたものとなっているようだった。その時の時間を楽しむだけでなく、導入の時間を十分に取る事で子どもたちの楽しみ方への興味も深くなるものとなったと感じた。